

民衆の声  
ボイス

No.105

# VOICEよこはま

公明党 横浜市会ニュース

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

## 令和6年度 横浜市予算要望書を提出

公明党横浜市会議員団は、10月18日、令和6年度予算編成に対する要望書を山中竹春横浜市長へ提出。日常の広聴活動や団体との政策懇談会などで頂いたお声を、「防災・減災」「子育て」「高齢者福祉」など347項目の政策要望として構成したものです。市長より「しっかりと受け止め、予算編成に反映する」旨、応えて頂きました。



## 上瀬谷のまちづくり 郊外部の新たな活性化拠点

### GREEN×EXPO 2027を開催

横浜発の万博として「新しいグリーン万博」を開催。自然・人・社会が共に持続するための最適解を横浜・日本から発信し、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する万博を目指しています。



### 上瀬谷「観光・賑わい地区」の事業者予定者が決定

このほど事業者予定者が、三菱地所(株)(東京都)に決定。ジャパンコンテンツと最先端のジャパンテクノロジーを活用した次世代型テーマパークとして、2031年頃にオープンする計画。将来的に1500万人の来場者を目指しています。



### 公明党五大市政策研究会を開催

横浜・大阪・神戸・名古屋・京都の五大市公明党による「行政のデジタル化推進」についての政策研究会を神戸市内で開催。デジタル化加速の国への要望に繋がります。



### お悔やみ窓口をモデル設置へ 実績!

死亡に伴う煩雑な手続きの負担軽減へ、各種申請書の作成、補助、受付をワンストップで行う専用窓口の設置を要望。来年1月からモデル区(鶴見区・瀬谷区)で実施されます。

### ケアマネジャーを守る窓口を検討!

ケアマネジャーの人材確保、離職防止へ、処遇改善と合わせて、ケアマネジャーを過剰な要求やハラスメントから守るための対策を要望。処遇改善に向けた国への要望とともに、相談窓口の設置が検討されます。

### LINEで子ども・若者相談がスタート 実績!

公明党市議団は「子ども・若者がより相談しやすい環境整備にLINEを活用すべき」と訴えていたもので、相談者に寄り添った運用が期待されます。

LINEで気軽に相談  
よこはま子ども・若者相談室

ひとりで悩まず相談してみませんか?

相談時間 月、水、日曜日 14時～21時  
(年末年始を除く)

相談内容 友人関係や進学・就職など金銭・ひきこもり相談

対象者 横浜市内在住の子ども・若者や、そのご家族など

詳しくはこちら

## 令和5年 第3回定例会における論戦より

一般質問

### 産後母子ケアのさらなる充実を

全国に先駆け産後母子ケア事業を開始した横浜市には、現在はショートステイ、デイケア、訪問型の3つの支援があります。ショートステイ、デイケアの利用は1割を、訪問型は5割を利用者に負担いただいている現状を鑑み、訪問型の利用者負担を軽減すべきと考え、市長に見解を求めました。市長から、「訪問型に利用料の減免補助を活用して、1回の利用料4000円から1500円に引き下げたい。年内には実施できるよう、現在、受託先や関係機関との調整を進めている」との答弁を引き出しました。



### 市営地下鉄のバリアフリー推進

「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」の実現のためには、誰もが自分の行きたい場所に自由に移動でき、様々な活動に参加できるよう、市営地下鉄など公共交通機関を利用した移動のしやすさが重要です。特に高齢者や障害のある方には、バリアフリーで使いやすい駅であることが大変重要ですが、市営地下鉄の現状は、トイレがオストメイト対応となっていない駅もあり、和式便器が多く残っているなどの現状を改善すべきと訴えました。



建築福祉・医療委員会  
健康づくり・スポーツ推進  
特別委員会副委員長  
戸塚区選出  
中島みつりのり

交通局長は、「今年度は、センター南駅でトイレのリニューアルやホームと車両の段差と隙間を縮小する工事を始める」と応じました。

議案関連質疑

### プラスチックごみの分別・リサイクルの推進

横浜市では、脱炭素社会の実現に向け、現在のプラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品を対象とする分別・リサイクルの拡大を、令和6年度中から市内の一部地域で開始します。約20年ぶりの大きなルール変更となり、ひとり暮らしの学生や高齢者、さらに外国人も含め、すべての市民の協力が重要です。現在はSDGSや脱炭素に加え、自治会加入率の低下やSNSの普及など、社会環境が大きく変化しており、市民一人ひとりに伝わる広報の必要性を市長に求めました。市長からは、「環境事業推進委員や連合町内会の皆様など、日頃から地域で御活躍頂いている方々への丁寧な説明や、商業施設や主要駅での啓発活動、さらにホームページやSNS等での動画を活用した広報などに取り組む」との答弁がありました。

### 積極的な空き家対策を

災害発生時等の緊急の場合に、周囲に著しい悪影響を及ぼす特定空家の危険を解消するため、緊急代執行制度が創設されました。所有者がいる場合でも、切迫した危険を回避する手段として、今回の法改正による新たな制度を積極的に活用すべきと質問しました。市長は、「法改正で創設された緊急代執行制度は、災害などの場合に、迅速に行政が措置できる制度であり、これまで条例の対象ではなかった所有者がいる場合でも適用が可能となったことから、緊急代執行制度や条例による応急的な危険回避措置などを効果的に運用し、市民の安全安心につなげていく」と答えました。



市民相談

お気軽に何でも  
ご相談下さい

横浜市議員(戸塚区選出)

中島みつりのり

●ご意見・ご相談はお気軽に

TEL.045-410-6307 FAX.045-410-6308

(ホームページ) http://nakajima-mitsunori.com/

LINEのお友達募集



※公明党横浜市会議員団を代表して一般質問(市来議員)、議案関連質疑(尾崎議員)が質問しました。



# 令和6年度予算案に公明党の主張が大きく反映しました！

## 1.子育てを力強くサポート

### 幼稚園・保育園の人材確保を支援

- 保育士等の処遇を改善
- 医療的ケア児受入れのための看護職員を派遣
- ローテーション保育士雇用加算を拡充(加算区分の細分化)
- 宿舍借り上げ支援の戸数を増加



### 児童手当の拡充

- 所得制限を撤廃、高校3年まで対象拡大、多子世帯へ増額(第3子以降3万円)  
※令和6年10月分から拡充(12月に支給)

- 出産・子育て応援金(10万円分)をギフト支給
- 小学校始業前の朝の居場所づくりをモデル実施
- ヤングケアラー支援を拡充 SNSによる相談事業をスタート
- 「医療的ケア児」支援がさらに充実 医療的ケア児サポート保育園を拡充(12→24園を認定)
- キッズクラブ・学童での夏休み期間の昼食提供をモデル実施

## 2.防災・減災への備えをさらに強化

### 学校体育館へのエアコン設置を加速

- エアコンを27校、大型冷風機を10校に新設

### 災害時の情報伝達手段の強化へ

- テレビプッシュ設置補助をモデル実施(1000件へ)

- 防災ベッド・感震ブレーカー等の設置拡大
- 災害時の障害者支援の拡充・福祉用具の備蓄や避難場所の整備
- 備蓄品へ液体ミルクを追加(段ボールベッドも公明党の提案で備蓄されています)
- 中学校グラウンドへの夜間照明設置推進

## 3.教育環境のさらなる充実を

### 不登校児童生徒へ寄り添った支援を強化

- 中学校における教室外登校(校内ハートフル事業)を拡充(55→80校へ)

### 給食室へのエアコン設置を加速

- モデル校9校に設置して効果等を検証

- 学校のバリアフリー、エレベーター設置を加速(30校へ倍増)
- 「中学校給食」がさらに利用しやすく！ 令和8年度「みんなで食べる給食」へ、配膳室整備を加速
- 学校の先生の負担軽減を推進 清掃業務の外部委託、副校長のサポート職員を新規配置



## 4.誰もが安心して暮らせる街へ

### 防犯カメラの設置補助を拡大(150台)

- 補助上限額を16→21万円に拡大

- 市営住宅 住民の負担軽減へ、共益費の徴収、草刈り等を管理者が実施へ
- 带状麻疹ワクチンの定期接種化へ、市内での罹患状況を調査
- ワンストップの「お悔み窓口」をモデル設置(2区へ)
- 市内約2700公園で受動喫煙対策を実施
- 特別養護老人ホーム約1500人分を整備(竣工・着工を補助)

### 地域交通の更なる充実へ

- 新たに12地区で移動サービスの導入検討・実証実験等を実施

## 5.物価・エネルギー高騰対策へ追加施策

- 住民税非課税世帯へ7万円を給付 2月28日から順次支給を開始
- 横浜市エコ家電応援キャンペーン「エコハマ」第2弾実施へ、6月よりスタート
- 商店街の集客促進を支援 プレミアム商品券を発行する際のプレミアム分および事務費の一部を補助
- 自治会支援で町内会館の断熱化、エアコン導入、LED化を補助(補助率2/3)



## 政務活動最前線

### 横須賀市の終活支援を視察

行政が主導して、身寄りのない方の生前の意思確認から登録までを行うなど、市民の尊厳を守る取組みで全国をリードする横須賀市。福祉専門官の北見万幸先生より、課題や成果を伺いました。



横須賀市議会を訪問(11月9日)

### 市大の医療研究の更なる発展を

横浜市立大学福浦キャンパスを訪れ、再生医療研究やメタバース診療所など最新の研究を聴取。また、先端医科学研究センター・新興感染症研究センターでの最新の研究現場を訪れ、今後の研究成果に期待を寄せました。



市大学長などと意見交換(1月18日)

### 子ども・家庭に寄り添う療育へ



北部療育センター(11月28日)

北部療育センターの通園・診療施設等を視察し、低年齢化する相談対応の現状、求められる支援の変化や課題などを伺いました。

### 学校施設への夜間照明を推進



地域の方と設置現場に(1月25日)

戸塚区の柏尾小学校を訪問。地域のスポーツの場の拡充と、災害時では地域防災拠点での安心の場の提供として、小中学校グラウンドへの夜間照明設置を推進しています。